

愛媛

東日本大震災の被災地支援の輪を広げようと、宮城県の子どもたちが書いたサンタクロースへの手紙300点の展示会が27日、松山市森松町の松山南郵便局で始まった。来月25日まで、日本・フィンランド・サントクロース協会・静岡が企画。昨年、サンタあての手紙を募集し、最も送り主が多い都道府県にサンタが訪問する取り組みを実施。フィンランドから来日した「サンタ」が同12月、同協会に約3万2000通を届けた宮城県で子どもたちと交流した。

震災を受け、協会は9月の1か月間、世界に支援を呼びかけようと、

サンタさんへ宮城の願い 児童の手紙、松山で展示



サンタクロースなどが描かれた宮城の子どもたちの手紙に見入る園児たち（松山市の松山南郵便局で）

フィンランドの「サンタクロース中央郵便局」で、宮城の子どもたちの手紙展示会を開催。今月からは日本各地を巡回している。

手紙には、色鉛筆やクレヨンでサンタやトナカイの絵が描かれ、「早く来てね」「風邪を引かないよう気を付けて」などのメッセージが添えられている。この日は松山市恵原町の私立くたに幼稚園の園児34人が「あわてんぼうのサンタクロース」を合唱。

赤松和明・松山南郵便局長は「サンタは夢や希望を届ける使者。手紙を見て、支援を続ける気持ちを多くの人が持つてもらえれば」と話している。